

営繕工事における不調・不落対策について

【特徴】 ①中小規模改修工事の発生率が高い ②同一案件で繰り返し発生 ③新築工事でも発生

予定価格対策

- **物価スライド手続きの改善**
 - ・スライド条項適用に関する情報提供
- **地域外労働者確保経費の精算の試行**
 - ・地域外より労働者を確保する場合の必要経費を変更契約で増額
(宿泊費、送迎費、食事、通勤費用等)

工事施工対策

- **工事書類の簡素化の試行**
 - ・工事書類の簡素化により施工者の負担を低減

入札・契約対策

- **実績要件の緩和**
 - ・小規模工事の建物要件等を緩和
(例えば、建物用途を限定しない、建物規模は求めないなど)
- **対象等級・地域の拡大**
 - ・上位又は下位等級まで含めた発注、府県単位以上の地域設定による参加者の拡大
- **適切な発注ロットの設定**
 - ・近隣工事の合併によりロットを拡大し、技術者不足の回避を図る
- **発注情報提供の工夫**
 - ・業界団体との説明会、意見交換会による情報提供
- **不落随契の実施**
 - ・2回目入札で落札しない場合は随意契約に移行

継続実施し更に、

今後実施予定の対策

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 見積活用方式の試行 <input type="checkbox"/> 施工条件明示の改善 <input type="checkbox"/> 施工能力評価型Ⅱ型の適用 <input type="checkbox"/> 発注情報提供の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・不調・不落工事を対象に実情に応じた見積を応札者より徴収し積算に反映 ・施工順序や対応する工事範囲を設計図書に明記 (条件の明確化により、受注後のリスク低減) ・施工能力評価型Ⅰ型適用工事をⅡ型に変更 ・HPへの掲載 |
|---|---|